



2013 年 6 月発行 NO. 19

平成 25 年度 協議会総会開催

5月 22 日(水)に広島市役所2階講堂において 25 年度の総会が開催され、平成 24 年度の活動報告書・決算と平成 25 年度活動計画書・予算が議案どおり承認されました。

今年度の大きな事業として、当協議会主催による「地球温暖化防止イベント」を 8 月 23 日(金)に紙屋町シャレオ中央広場で開催することが決定しました。その準備会を早速総会を終えた午後開催いたしました。協議会の会員のほか、広島市エコパートナーや関係機関・団体の方々に出席いただき、現在の計画案を説明しました。現在、出展団体等を募って具体化しているところです。

(平成 24 年度の活動の中から、従前と変わった取り組み事項など)

「家庭・消費者WG」 緑のカーテン事業を新たな取り組みとして栽培によるデータ収集や講習会への参加等を行いました。

草の根省エネ診断事業では、広島版省エネ診断ソフトの構築に協力し、その普及のための省エネ診断には、行政の方々の体験参加もいただきました。

「イベントWG」 広島産業会館西展示館で開催した「温暖化ストップフェア in ひろしま」ではイベント・ステージ企画で集客に努めました。

「eco ちゃりWG」 クルマから自転車へのシフトというライフスタイルの見直しのきっかけとなるよう市民フォーラムを開催しました。



《編集・連絡先》

広島市地球温暖化対策地域協議会

[事務局] 広島市環境局温暖化対策課

広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2229

E-mail: ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

(平成 25 年度の事業と参加メンバー)

総会の後、各WG・事業への参加希望を募りました。その結果、6月20日現在の希望状況は下記のとおりになっています。

○家庭・消費者WG

・ひろしま温暖化ドクター事業 6 名

・草の根省エネ診断事業 6 名

・エコ川柳事業 9 名

・緑のカーテン事業 6 名

○イベントWG 14 名

・地球温暖化防止イベントの開催

・各種イベントへの参加

○事業WG

・事業所の省エネ診断事業 6 名

○教育・学習WG

・環境学習の支援事業 5 名

○eco ちゃりWG

・自動車から自転車への転換事業 10 名

○広報WG

・情報誌の発行事業 5 名

いずれの事業にも参加希望が出されていない会員の皆さん、できれば参加していただいて一緒に活動をいたしましょう。

新たな活動希望など、コメントがありましたらおよせください。



2013 年 4 月から 6 月の活動

○役員会:

- ・5 月 8 日 総会資料検討

○イベント WG:

- ・環境の日ひろしま大会
6 月 2 日 省エネ診断とパネル展示

○家庭・消費者 WG:

- ・ひろしま温暖化ドクター事業
6 月 1 日～14 日 一般参加者募集
応募者 20 名
- ・草の根省エネ診断事業
5 月 25 日 広島市消費者月間事業
(紙屋町シャレオ中央広場)
6 月 2 日 環境の日ひろしま大会
(県庁前広場)
6 月 23 日 東区女性会まつり
(東区総合福祉センター)
- ・緑のカーテン事業
5 月 10 日 緑のカーテンの栽培研修会
(東区馬木公民館)参加者 26 名



2013 年 7 月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします。

○イベント WG:

- 7 月 27 日・28 日
「ピース・フィールド」のイベントに参加
場所はハノーバー庭園において展示ブース
に出展予定

省エネ診断とパネル展示の予定ですが、詳細は今後検討予定です。

○家庭・消費者 WG:

- ・ひろしま温暖化ドクター事業
7 月 23 日 新規モニター説明会
広島市留学生会館

活動詳細レポート 「広島市消費者月間事業」での 省エネ診断

5 月 25 日(土)紙屋町シャレオ中央広場において開催されました「消費者のひろば」で、公益社団法人広島消費者協会さんのブースにて省エネ診断を行いました。



ブーススペースの関係からパソコン1台で対応しましたが、受診者は、27 名にものぼり、参加者の意識の高さを実感いたしました。

会場のブース構成など、8月に開催する協議会の脱温暖化イベントを企画する上でとても参考になりました。

「環境の日」ひろしま大会

6 月 2 日(日)県庁前広場を会場として開催されました。協議会は、省エネ診断とパネル展示・省エネグッズ紹介を行いました。

あいにくの雨天となったため、来場者は少なかったようですが、省エネ診断には 21 名の方に受診していただきました。



協議会の事業者会員紹介(8)

広島ガス株式会社

広島ガスは、中国地方では最初のガス会社として、1909年10月の創立後、100年以上にわたり地域の皆さまとともに歩んでまいりました。

現在では、広島県内5市4町のお客さまに都市ガスを、グループ会社を通じて中国地方のお客さまにLPガスをご利用いただくとともに、廿日市工場のガスコージェネレーションシステムの余剰電力卸売など電力供給も手掛けています。

またエネファーム(家庭用燃料電池)と太陽光発電を組み合わせたW発電や、太陽熱利用ガス温水システム「SORAMO(ソラモ)」を販売、さらに阿賀製造所跡地にて大規模太陽光発電所の建設に着手するなど、再生可能エネルギーの普及促進にも積極的に取り組んでいます。

今後も地球環境にやさしく、安定的に入手可能な天然ガスの高効率利用を中心に、多様なエネルギーミックスを推進し、持続可能な低炭素社会の構築に貢献してまいります。

※ 環境・CSR活動のご紹介:

http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html



広島ガスショールーム

ガストピアセンター(広島市中区南竹屋町)

広島市からのお知らせ

「平成25年度 広島市住宅環境性能向上補助金」について

住宅の省エネ化を進めるため、太陽光発電システムなどの設置や、改修を行う際の断熱構造化工事などの工事費の一部を助成します。

【対象工事】

本市の区域内に住所を有する個人又は管理組合が、次の区分ごとの工事につき1件申請することができます。

- ①未使用の太陽光発電システムを設置
(未使用の太陽光発電システムを設置した建売住宅の購入を含む)
※最大出力が10KW未満に限る。
- ②未使用の太陽熱利用システムを設置
(未使用の太陽熱利用システムを設置した建売住宅の購入を含む)
- ③住宅の屋根、外壁、天井、内壁または床のいずれかに断熱材を設置
※総設置面積が50㎡以上のもの
※厚さが20mm以上でフロン類を使用していないもの
- ④住宅の1居室内のすべての外部に面する窓に複層ガラス(インナーサッシを含む)を設置

※総設置面積が7㎡以上のもの

【補助対象】個人または管理組合

※工事着工後の申請は不可

【補助額】1件につき3万円。

募集枠1,930件。先着順。

【申込】所定の申請書を、郵送で温暖化対策課へ。

【問】同課(Tel 504-2185 fax504-2229)



2013 ひろしま温暖化 ストップ！フェアの準備状況

「2013ひろしま温暖化ストップ！フェア」は、8月23日(金)にシャレオ中央広場において開催することが決定しました。

会場のスペースは少し狭いですが、広島市の中心街に位置しており、立地条件としては申し分ない場所です。これからの準備は、市民の皆さんに立ち寄ってもらえるように魅力的な内容を構成することが課題になってまいります。

現在は広島市地球温暖化対策地域協議会の事業者会員、ひろしまエコパートナーの会員企業および中国経済産業局、環境省広島事務所、広島県等(順不同)に出展をお願いしているところです。

本事業を実行するにあたり、今年度の視点としては、京都議定書の第一約束期間の終了した年であることを踏まえて、次のステップへの行動の指針として、2009年に広島市が発表した「広島カーボンマイナス70」を採用しました。同指針においては「温暖化ストップ」の手法として

- ① エネルギー需要の圧縮
 - ② 需要側のエネルギー選択
 - ③ 供給側のエネルギーのグリーン化
- を挙げています。

本事業ではこれらの範疇にはいない環境活動を④温暖化防止とは直接かかわらない環境啓発活動として、合計四本の柱で構成することとして出展者を募りました。

6月20日現在での出展予定企業・団体は下表のとおりです。

花王カスタマーマーケティング株式会社
有限会社木下組
広島電鉄株式会社
公益社団法人広島消費者協会(予定)
脱温暖化センターひろしま
中国経済産業局
環境省中国四国地方環境事務所広島事務所
広島県(広島県環境政策課・ひろしま地球環境フォーラム)
広島市地球温暖化対策地域協議会

敬称略

2013 年度夏季の節電要請

今年の夏は、具体的な数値目標はありませんが、無理のない形での節電要請が出ております。節電要請期間と時間は次のとおりです。

・7月1日(月)～9月30日(月)の平日

＊ただし、8月13日(火)から15日(木)までを除く

・9時～20時の時間帯



地球温暖化防止のためには、エネルギーの使用量を削減することが求められており、私たちも、省エネ活動を実施しているところですが、これに加えて、電力需給安定のためには、ピークを抑制する節電への取り組みが必要になっています。

夏季電力全体の使用状況によると、13時～16時ごろに最大ピークとなる傾向があり、また、家庭では17時30分以降の時間帯における電力使用量が多くなっています。

身近なところから、取り組んでいきましょう。

次号(20号)の掲載予告

9月末発行予定

○ピース・フィールド(7/27・28)報告

○温暖化ストップフェア(8/23)報告

協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。



編集後記

第19号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。 E-mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp